平成29年度第２回

大阪人材確保推進会議　運輸業分科会

議事要旨

（開催要領）

１．開催日時：平成30年3 月22 日(木)

２．場 所：エル・おおさか南館4F　会議室Ａ

３．出席者：

　大阪府

（座長）商工労働部雇用推進室長　　　 　　　　道籏　佳久

　　　　　　　　　　 　 教育庁高等学校課　主任指導主事 　　　向井　正明

　　　　　　　　　　　　 商工労働部

中小企業支援室経営支援課　課長補佐　 石田　正之

　　　　　　　　　　　　 雇用推進室労政課長　　 　 　　　　前田　真二

　　　　　　　　　　　　　　　　　　就業促進課長　 　　　　柴田　昌幸

　　　　　　　　　　　　　　　　　　人材育成課長　 　　　　 安孫子　弘

 総合労働事務所長　　　　　 増井　健人

（一社）大阪府トラック協会　 専務理事　 　　　　 滝口　敬介

（一社）大阪バス協会　　　　　常務理事　　　　　　　　阪部　光雄

大阪労働局

職業安定部職業安定課　運営企画係長　　　　　　　　 前田　亮

近畿運輸局

自動車交通部貨物課長　　　　　　 　　　　 松尾　武文

自動車交通部旅客第一課長　　　　　　　　　　　　　 後藤　浩之

４．会議の内容

　（１）開会

　（２）大阪人材確保推進会議構成員の新規加入について

　（３）大阪人材確保推進会議設置要綱の一部改正について

　（４）平成29年度実績及び平成30年度取組について

　（５）その他

＜議事要旨＞

1. 開会

　　大阪府　雇用推進室長

　・平成29年度も終盤にさしかかった。今年5月には「大阪人材確保推進会議」の開催予定。平成30年度も実施計画の発表を考えている。

・皆様から連携提案はじめ、意見交換を行い、平成30年度の取組をさらによいものに進化していけたらと考えているのでよろしく。

（２）大阪人材確保推進会議構成員の新規加入について

　　　・新規加入について、資料に基づき説明

そのうち１団体は運輸分野で「一般社団法人大阪バス協会」で近畿運輸局からの推薦。

　　　・近畿運輸局より推薦理由を説明。

路線バスは人材不足が深刻化するとバスの減便を招く。路線バスは大手企業が多く、今までは各社での取組であったが、バス協会で取りまとめて、大阪人材確保推進会議と一緒に取組を実施していくことに効果があると考え、今回、推薦した。

　　　・運輸業分科会として、新規加入について、「異論なし」。

　　　　正式加入にあたっては、5月開催予定の大阪人材確保推進会議後に予定

　　　・大阪バス協会より

　　　　運転手等の人材不足が課題となっており、運転手の高齢化が進んでいる。

乗合バスにおいては運転手不足により増便への対応ができておらず、路線の廃止にもつながっているケースが見受けられる。貸切バスは閑散期と繁忙期と波があるが、運転手がいないため、繁忙期には断っているケースが見受けられる。

バス協会として、現時点で取組んでいるものはないが、今後、大阪人材確保推進会議の構成員と連携して取組んでいきたい。

（３）大阪人材確保推進会議設置要綱の一部改正について

　　　・一部改正事項について、資料に基づき説明。改正は5月開催予定の大阪人材確保推進会議後に予定

＜主な意見＞

　　　・設置要綱一部改正について、「異論なし」。

　　　・新たに追加する「生産性の向上」、「健康経営」についてはトラック協会としても来年度、重点的に取組む事項と位置づけている。

　　　・新たに追加する項目は「人材確保」と切っても切れない。軸足を人材採用だけに充てるのか、それに付随するところまで充てるのかはあるが、ある程度表裏関係をにらみながら事業を進めていく必要がある。

　　　・設置要綱第２条について、追加項目が「雇用促進」の意味合いも含まれることから条項の順番を入れ替えるほうが良いのではないか。

（４）平成29年度実績及び平成30年度取組について

各団体・機関より標記について、資料に基づき説明後、意見交換。

＜主な発言＞

総合労働事務所：

・平成３０年度も引き続き、トラック協会と連携しながらセミナーを実施していきたい。広報含め協力をよろしく。

大阪府トラック協会：

・業界研究セミナーでは事業者の取組も紹介。セミナー受講者の中から面接につながったケースがあった。

・今年度実施した河北支部と総合労働事務所との連携セミナーは連携支部を変えた来年度もぜひ実施したいと考えている。

・トラックドライバーとして大学生を採用するのは難しい。高校や専門学校生に来年度は力を入れたい。また高校生対象に出前授業など取組を行っていきたいと考えているので、ぜひ協力をしてほしい。

近畿運輸局：

・小中高校生を対象とした出前授業等は具体に対象がまだ決まっていない。今年度等は中学２年生を対象に行っていたが、進学が眼中にあり、就職を具体的にイメージできていない模様。これからの検討になるが、高校生なら高校２年生を対象に小学生なら、憧れなどから物流関係を選択してもらえるよう、業界の理解を図る取組ができたらと考えている。

大阪労働局：

・平成29年度からハローワーク大阪東に人材確保対策コーナーを設置。運輸、建設、福祉関係及び警備業界をメインに取組んできた。今年度は全国12箇所で大阪府内はハローワーク大阪東のみだった。

・平成30年度は全国86箇所、大阪府内では7箇所でコーナー設置予定。

　平成30年度の具体的な計画はできていないが、今年度と同じように大阪府トラック協会等の協力を得ながら、取組んでいきたいので、協力よろしく。

　人材育成課：

　　・大学生向けインターンシップ事業について、1年間で現時点19社26名マッチングした。運輸業は6社、10名の方が参加。

　　・今回、春休みに業界自体を理解してもらうために3業界を研究するインターンシップ事業を実施。企業も訪問し、ドライバーだけでなく営業など様々な職種が携わっており、印象が変わったという話があった。早い段階から実際に現場を見ていくなど業界を知る取組は必要であると改めて認識。

（５）その他（説明：事務局）

　　・次回の大阪人材確保推進会議の今後のスケジュールを説明